



2023年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月11日

上場会社名 株式会社 大 和 上場取引所 東
 コード番号 8247 URL http://www.daiwa-dp.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部財務部長 (氏名) 長嶋 和生 TEL (076) 220-1100
 四半期報告書提出予定日 2022年10月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	7,687	-	3	-	77	-	13	-
2022年2月期第2四半期	17,517	24.0	△338	-	△248	-	△211	-

(注1) 包括利益 2023年2月期第2四半期 106百万円 (-%) 2022年2月期第2四半期 △207百万円 (-%)

(注2) 第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、当該基準適用前の前期の実績値に対する増減率は記載しておりません。なお、従来の計上方法による総額売上高は18,781百万円（対前年同四半期増減率7.2%）であります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	2.46	-
2022年2月期第2四半期	△37.68	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年2月期第2四半期	26,715	3,399	12.7	605.90
2022年2月期	26,733	2,975	11.1	530.40

(参考) 自己資本 2023年2月期第2四半期 3,399百万円 2022年2月期 2,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年2月期	-	0.00	-	-	-
2023年2月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	-	130	-	80	-	50	-	8.91

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注2) 第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、当該基準に基づいた予想となっているため、当該基準適用前の前期の実績値に対する増減率は記載しておりません。なお、従来の計上方法による総額売上高は38,700百万円（対前期増減率2.7%）を予想しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期2Q	6,003,400株	2022年2月期	6,003,400株
② 期末自己株式数	2023年2月期2Q	393,046株	2022年2月期	392,974株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期2Q	5,610,390株	2022年2月期2Q	5,610,811株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては【添付資料】2ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(参考) 個別業績の概要

- ・個別業績の概要は法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(1) 2023年2月期第2四半期の個別業績 (2022年3月1日~2022年8月31日)

【個別経営成績】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	6,768	—	180	—	140	—	100	—
2022年2月期第2四半期	16,874	23.4	△125	—	△167	—	△98	—

(注) 当第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、当該基準適用前の前期の実績値に対する増減率は記載しておりません。なお、従来の計上方法による総額売上高は18,006百万円(対前年同四半期増減率6.7%)であります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	17.93	—
2022年2月期第2四半期	△17.62	—

【個別財政状態】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年2月期第2四半期	22,024	1,594	7.2	284.18
2022年2月期	21,980	1,398	6.4	249.32

(参考) 自己資本 2023年2月期第2四半期 1,594百万円 2022年2月期 1,398百万円

(2) 2023年2月期の個別業績予想 (2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	14,000	—	250	—	160	—	120	—	21.39

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注2) 当第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、当該基準に基づいた予想となっているため、当該基準適用前の前期の実績値に対する増減率は記載しておりません。なお、従来の計上方法による総額売上高は37,500百万円(対前期増減率3.8%)を予想しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
3. (参考) 個別店別・商品別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間から「収益認識に関する会計基準」を適用しております。この結果、前第2四半期連結累計期間と収益の会計処理が異なることから、以下の経営成績に関する説明において、対前年同四半期増減率を記載せずに説明しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(3～8月)のわが国経済は、長期にわたるコロナ禍の中、世界情勢の変化に伴うエネルギー資源や原材料の高騰等により、先行きは不透明な状況となりました。

百貨店業界におきましては、売上高は次第に回復基調となりましたが、物価上昇に伴う節約志向の高まり等から本格的な回復には至りませんでした。

この期間、主力の百貨店業におきましては、安全・安心をベースに新たな顧客層の拡大を図るべく、引き続き「新しい商品と企画」の開発強化に取り組んで参りました。

香林坊店においては、本物志向の顧客ニーズに対応すべく、3月の「ロエベ」ブティックの改装に加え、地域未展開のラグジュアリーブランドの企画催事を実施するとともに、和菓子の老舗有名店「とらや」(3月)や「たねや」(7～8月)等のシーズンショップを開設し、地域のお客様から高い評価を頂きました。

富山店におきましては、4月に百貨店同士の協働取り組みとして、銀座松屋の人気紳士服催事「銀座の男市」を初開催する等、マーケットの掘り起こしに努めて参りました。

併せて、5月に高岡市の国宝高岡山瑞龍寺におきまして、高級呉服逸品会「菖風会」を開催し、地域に根ざす百貨店ならではの新たな企画として取り組みました。

こうした取り組みにより、売上高につきましては、香林坊店、富山店とも増収となり、香林坊店につきましては、ほぼコロナ禍以前の水準となりました。

利益面におきましては、感染拡大第7波の影響からホテル業が厳しい状況となりましたが、売上高の回復と併せ販売管理費の圧縮に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、

・売上高	76億8千7百万円
・営業利益	3百万円
・経常利益	7千7百万円
・親会社株主に帰属する四半期純利益	1千3百万円

となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」を適用しなかった場合の売上高は、187億8千1百万円(対前年同四半期増減率7.2%)であります。

今後につきましては、引き続き、地域では当社だけが取り組むことができる、こだわりある営業施策を推進し、重点顧客の更なる深耕と次世代顧客の獲得に努めますとともに、経営効率改善と併せて収益力の回復を図って参ります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、267億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千8百万円減少しました。

負債については、233億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千2百万円減少しました。

純資産については、33億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千3百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年10月4日公表の「第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,043,829	2,116,642
受取手形及び売掛金	1,548,053	1,626,449
商品及び製品	1,414,517	1,333,384
仕掛品	16,030	28,012
原材料及び貯蔵品	39,711	40,420
その他	403,192	458,081
貸倒引当金	△17,877	△17,677
流動資産合計	5,447,457	5,585,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,492,025	23,550,468
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,516,381	△15,846,614
建物及び構築物(純額)	7,975,644	7,703,853
機械装置及び運搬具	776,372	780,813
減価償却累計額	△706,484	△714,918
機械装置及び運搬具(純額)	69,887	65,894
土地	8,265,239	8,265,239
その他	1,736,665	1,732,008
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,186,330	△1,218,110
その他(純額)	550,334	513,897
有形固定資産合計	16,861,106	16,548,884
無形固定資産		
施設利用権	1,572	1,572
ソフトウェア	55,532	49,028
無形固定資産合計	57,105	50,600
投資その他の資産		
投資有価証券	1,960,947	2,125,373
差入保証金	5,658,545	5,639,887
繰延税金資産	171,863	158,171
その他	101,558	101,834
貸倒引当金	△3,525,000	△3,495,000
投資その他の資産合計	4,367,915	4,530,266
固定資産合計	21,286,127	21,129,752
資産合計	26,733,585	26,715,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,153,500	2,208,734
契約負債	-	4,921,899
短期借入金	5,028,472	5,146,276
未払法人税等	52,847	15,976
商品券	5,630,298	834,104
預り金	2,707,026	2,727,415
賞与引当金	68,200	33,324
ポイント引当金	148,755	-
商品券等回収損失引当金	564,872	231,297
その他	796,704	711,053
流動負債合計	17,150,674	16,830,081
固定負債		
長期借入金	3,793,673	3,601,741
繰延税金負債	638,507	774,981
再評価に係る繰延税金負債	353,427	353,427
退職給付に係る負債	1,352,497	1,374,752
資産除去債務	148,303	149,950
環境対策引当金	75,607	-
その他	245,149	230,811
固定負債合計	6,607,166	6,485,664
負債合計	23,757,841	23,315,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,462,700	100,000
資本剰余金	1,151,981	1,595,438
利益剰余金	△2,228,858	1,021,004
自己株式	△594,993	△595,019
株主資本合計	1,790,829	2,121,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,298	391,520
土地再評価差額金	871,201	871,201
退職給付に係る調整累計額	15,415	15,174
その他の包括利益累計額合計	1,184,914	1,277,895
純資産合計	2,975,744	3,399,319
負債純資産合計	26,733,585	26,715,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
売上高	17,517,303	7,687,485
売上原価	13,800,640	3,805,711
売上総利益	3,716,662	3,881,774
販売費及び一般管理費	4,055,069	3,877,996
営業利益又は営業損失(△)	△338,406	3,777
営業外収益		
受取利息	814	1,388
受取配当金	37,973	40,287
受取賃貸料	53,363	53,176
長期未回収商品券	194,312	214,176
持分法による投資利益	406	483
助成金収入	56,286	41,267
その他	48,749	1,200
営業外収益合計	391,907	351,980
営業外費用		
支払利息	57,770	59,949
減価償却費	52,184	53,425
商品券等回収損失引当金繰入額	157,849	49,064
旧商品券回収	-	83,330
その他	34,633	32,090
営業外費用合計	302,438	277,859
経常利益又は経常損失(△)	△248,937	77,897
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,000	30,000
環境対策引当金戻入額	65,874	-
特別利益合計	75,874	30,000
特別損失		
投資有価証券評価損	-	2,778
固定資産除却損	2,845	-
特別損失合計	2,845	2,778
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△175,908	105,119
法人税、住民税及び事業税	35,694	14,672
法人税等調整額	△187	76,641
法人税等合計	35,506	91,313
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△211,414	13,805
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△211,414	13,805

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△211,414	13,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,047	93,222
退職給付に係る調整額	△6,162	△241
その他の包括利益合計	3,884	92,981
四半期包括利益	△207,530	106,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△207,530	106,786
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月12日開催の取締役会において、2022年5月26日開催の第106期定時株主総会に、資本金の額の減少及び、その効力が発生することを条件としてその他資本剰余金の処分をすることについて付議することを決議し、同定時株主総会において承認可決され、2022年7月1日に効力が発生しております。

それに伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が3,362百万円減少し、資本剰余金が443百万円、利益剰余金が2,919百万円それぞれ増加しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、当社グループが代理人として関与したと判定される取引については、純額で表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が11,094百万円、売上原価が10,864百万円、販売費及び一般管理費が226百万円それぞれ減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は316百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「負債の部」に表示していた「商品券」の一部及び「ポイント引当金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信に記載した「新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り」については、百貨店業やホテル業において、2022年度の上半期中は影響が残るものの、その後次第に回復に向かうものと仮定して見積りを行っておりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間において、百貨店業は概ね堅調な業績推移が今後も継続する一方、ホテル業においては2022年度の下半期も影響が継続し、2023年度以降、次第に回復に向かうとの想定に変更して、固定資産の減損損失等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見直しには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる可能性があります。

3. (参考) 個別店別・商品別売上高

【店別売上高】

(単位：百万円, %)

店 別	前第2四半期累計期間 自 2021年 3月 1日 至 2021年 8月31日		当第2四半期累計期間 自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月31日		対前年同四半期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減金額	増減率
香 林 坊 店	9,269	54.9	10,387	57.7	1,117	12.1
富 山 店	7,605	45.1	7,619	42.3	14	0.2
合 計	16,874	100.0	18,006	100.0	1,131	6.7

※店別売上高は、従来の計上方法による総額売上高の金額を表示しております。

【商品別売上高】

(単位：百万円, %)

商 品 別	前第2四半期累計期間 自 2021年 3月 1日 至 2021年 8月31日		当第2四半期累計期間 自 2022年 3月 1日 至 2022年 8月31日		対前年同四半期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減金額	増減率
衣 料 品	4,274	25.3	4,548	25.3	274	6.4
身 回 品	2,548	15.1	2,929	16.3	381	15.0
雑 貨	3,126	18.5	3,430	19.0	304	9.7
家 庭 用 品	1,371	8.2	1,319	7.3	△52	△3.8
食 料 品	5,127	30.4	5,249	29.2	122	2.4
そ の 他	426	2.5	528	2.9	101	23.9
合 計	16,874	100.0	18,006	100.0	1,131	6.7

※商品別売上高は、従来の計上方法による総額売上高の金額を表示しております。